

# ダイワ／フィデリティ 北米株式ファンド ーパラダイムシフトー

## 運用報告書（全体版） 第7期

（決算日 2020年3月18日）

（作成対象期間 2019年3月19日～2020年3月18日）

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国経済変革の恩恵を受ける北米の株式に投資し、値上がり益を追求することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先（コールセンター）  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00～17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	約10年間（2013年3月19日～2023年3月17日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ、フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズ（適格機関投資家専用）の受益証券 ロ、ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の30%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

## 最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	公 社 債 組 入 比 率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率			
3 期末 (2016年3月18日)	円 10,138	円 0	% △12.9	% 99.0	% 0.0	百万円 17,204
4 期末 (2017年3月21日)	11,011	800	16.5	96.9	0.0	12,458
5 期末 (2018年3月19日)	10,615	0	△ 3.6	99.4	—	8,422
6 期末 (2019年3月18日)	11,098	150	6.0	99.5	—	6,647
7 期末 (2020年3月18日)	7,695	0	△30.7	99.5	—	3,689

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

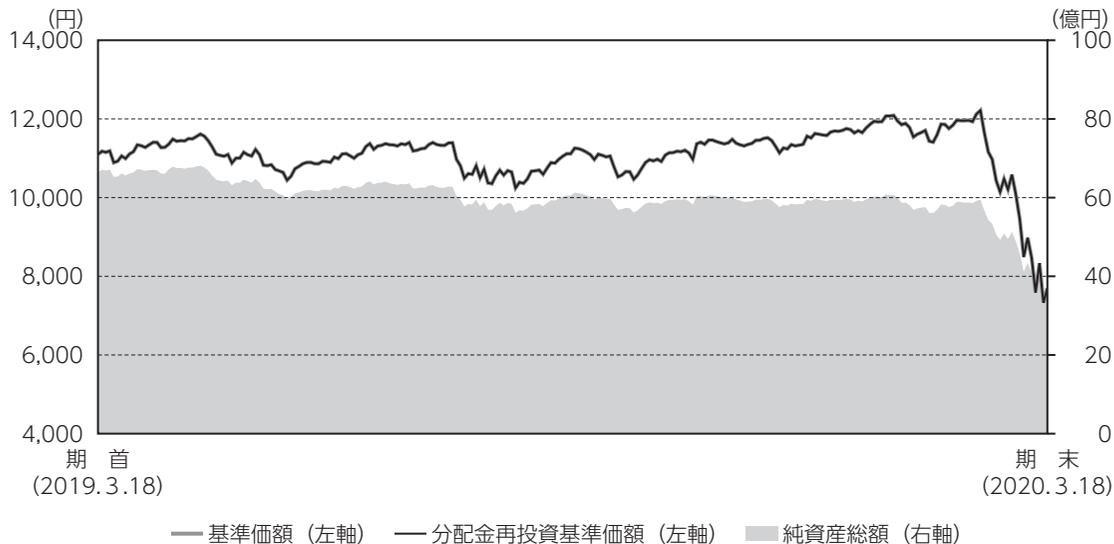
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載していません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：11,098円

期末：7,695円（分配金0円）

騰落率：△30.7%（分配金込み）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は、北米株式市場および米ドルが対円で下落（円高）したことがマイナス要因となり、下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ／フィデリティ北米株式ファンド -パラダイムシフト-

年 月 日	基 準	価 額		投 資 組 入	信 証 比	託 券 率	公 組 入 社 比	債 率
		騰 落	率					
(期首) 2019年 3月18日	円	11,098	% -			% 99.5		% -
3 月末		11,109	0.1			99.5		-
4 月末		11,444	3.1			99.5		-
5 月末		10,639	△ 4.1			99.5		-
6 月末		11,129	0.3			99.5		-
7 月末		11,389	2.6			99.5		-
8 月末		10,670	△ 3.9			99.5		-
9 月末		11,035	△ 0.6			99.5		-
10月末		11,136	0.3			99.5		-
11月末		11,522	3.8			99.5		-
12月末		11,729	5.7			99.5		-
2020年 1 月末		11,707	5.5			99.5		-
2 月末		10,434	△ 6.0			99.4		-
(期末) 2020年 3月18日		7,695	△30.7			99.5		-

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2019.3.19～2020.3.18)

### ■北米株式市況

北米株式市場は下落しました。

当作成期首から2019年秋にかけての北米株式市況は、米国企業の業績や個人消費とも引き続き堅調を維持しながらも、米中貿易摩擦による世界経済の減速懸念の高まりから、不安定な展開となりました。しかし、10月の米中貿易交渉の閣僚級協議を受けて米国が対中追加関税率の引き上げを見送ったことや、その後の交渉を経て米中両国が2020年1月に第1段階の合意に署名したことで、貿易摩擦を巡る世界経済の減速懸念に一定の歯止めがかかりました。また、F R B（米国連邦準備制度理事会）が利下げを行うなど、緩和的な金融政策も株式市況を支えました。2020年2月中旬以降は、新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大すると、株式市況は急落しました。

### ■為替相場

米ドル円相場は下落しました。

当作成期首から2019年8月にかけては、米中貿易摩擦を巡り米中の対立が一段と高まったことから、投資家のリスク選好度が低下し、安全資産とされる円が買われて円高基調となりました。しかし9月以降は、米中貿易協議が進展するとの期待から円安方向に転じました。その後も、米中両国による貿易協議の第1段階の合意発表から円安基調で推移しましたが、2020年2月中旬以降、新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大すると世界経済への懸念を背景に投資家のリスク回避姿勢が高まり、円高が進みました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズの受益証券の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズ：フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズ  
(適格機関投資家専用)

### ■フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズ

当ファンドでは、折々の局面で恩恵を受ける産業・企業を的確に把握し、個々の企業を丹念に調査し選別することにより、収益機会を追究してまいります。引き続き、エネルギー価格の動向や北米を含む世界経済の状況などに留意しながら、徹底したボトムアップによる企業調査に基づき、中長期的にシェール革命の恩恵を受け成長することが期待される銘柄を厳選し、投資をしてまいります。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2019.3.19～2020.3.18)

### ■当ファンド

当ファンドは、フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズとダイワ・マネー・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期は、フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズの受益証券を高位に組み入れました。

### ■フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズ

シェール革命の経済波及効果から期待される米国経済の変革に着目し、マクロ経済や産業セクターの分析と、個別企業の成長性や財務内容等の調査・分析を活用した「ボトムアップ・アプローチ」に基づく個別銘柄の選別を行いました。当作成期末の組入上位業種は、資本財・サービス、公益事業、エネルギーでした。個別銘柄では、シェブロン（エネルギー）、ネクステラ・エナジー（公益事業）、エアープロダクツ・アンド・ケミカルズ（素材）などが組入上位でした。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目		当 期
		2019年3月19日 ～2020年3月18日
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	748

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズの受益証券の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

### ■フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズ

当ファンドでは、折々の局面で恩恵を受ける産業・企業を的確に把握し、個々の企業を丹念に調査し選別することにより、収益機会を追求してまいります。引き続き、エネルギー価格の動向や北米を含む世界経済の状況などに留意しながら、徹底したボトムアップによる企業調査に基づき、中長期的にシェール革命の恩恵を受け成長することが期待される銘柄を厳選し、投資をしてまいります。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2019.3.19~2020.3.18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	136円	1.225%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11,099円です。
(投 信 会 社)	(42)	(0.381)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(91)	(0.817)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(3)	(0.027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.008	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	137	1.234	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

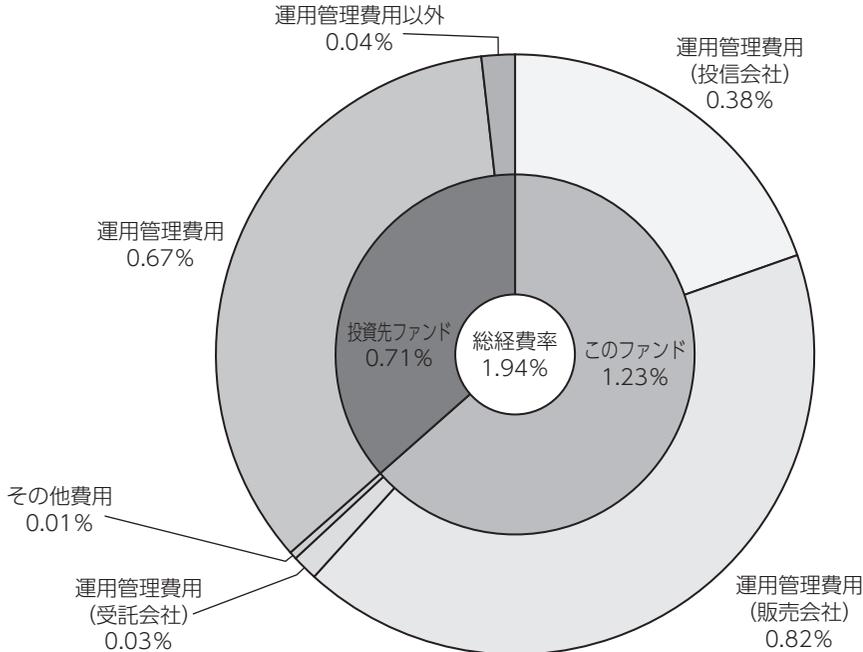
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.94%です。



総経費率 (①+②+③)	1.94%
①このファンドの費用の比率	1.23%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.67%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.04%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況  
投資信託受益証券

(2019年3月19日から2020年3月18日まで)

国	内	買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
	フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズ (適格機関投資家専用)	17,241.38	28,000	942,302.446	1,427,000

(注1) 金額は受渡し代金。  
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
国内投資信託受益証券 フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズ (適格機関投資家専用)	千口 3,517,091.732	千円 3,671,492	% 99.5

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。  
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	9,853	9,853	10,024

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年3月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	3,671,492	98.1
ダイワ・マネー・マザーファンド	10,024	0.3
コール・ローン等、その他	62,216	1.6
投資信託財産総額	3,743,732	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年3月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	3,743,732,950円
コール・ローン等	48,216,422
投資信託受益証券(評価額)	3,671,492,059
ダイワ・マネー・マザーファンド(評価額)	10,024,469
未収入金	14,000,000
(B) 負債	53,832,004
未払解約金	18,246,692
未払信託報酬	35,349,450
その他未払費用	235,862
(C) 純資産総額(A - B)	3,689,900,946
元本	4,795,406,114
次期繰越損益金	△1,105,505,168
(D) 受益権総口数	4,795,406,114口
1万口当り基準価額(C / D)	7,695円

\* 期首における元本額は5,990,029,327円、当作成期間中における追加設定元本額は127,027,893円、同解約元本額は1,321,651,106円です。  
\* 当期末の計算口数当りの純資産額は7,695円です。  
\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,105,505,168円です。

■損益の状況

当期 自2019年3月19日 至2020年3月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 22,542円
受取利息	3,488
支払利息	△ 26,030
(B) 有価証券売買損益	△1,560,918,066
売買益	64,687,487
売買損	△1,625,605,553
(C) 信託報酬等	△ 74,264,757
(D) 当期損益金(A + B + C)	△1,635,205,365
(E) 前期繰越損益金	236,821,488
(F) 追加信託差損益金	292,878,709
(配当等相当額)	( 122,183,195)
(売買損益相当額)	( 170,695,514)
(G) 合計(D + E + F)	△1,105,505,168
次期繰越損益金(G)	△1,105,505,168
追加信託差損益金	292,878,709
(配当等相当額)	( 122,183,195)
(売買損益相当額)	( 170,695,514)
分配準備積立金	236,854,369
繰越損益金	△1,635,238,246

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。  
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。  
(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

## ■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	122,183,195
(d) 分配準備積立金	236,854,369
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	359,037,564
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	359,037,564
(h) 受益権総口数	4,795,406,114口

## 《お知らせ》

## ■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

<補足情報>

当ファンド（ダイワ／フィデリティ北米株式ファンド（パラダイムシフト））が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2019年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2020年3月18日）現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

2019年3月19日～2020年3月18日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

下記は、2020年3月18日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（54,004,847千口）の内容です。

国内その他有価証券

	2020年3月18日現在	
	評 価 額	比 率
国内短期社債等	千円 999,996	% <1.8>

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

# ダイワ・マネー・マザーファンド

## 運用報告書 第15期 (決算日 2019年12月9日)

(作成対象期間 2018年12月11日～2019年12月9日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

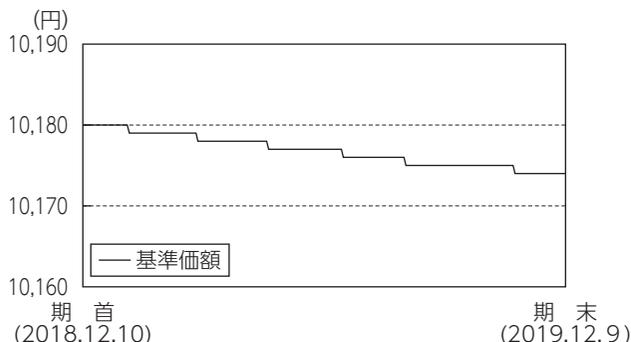
運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行いません。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率		
	円	%	%
(期首)2018年12月10日	10,180	-	-
12月末	10,180	0.0	-
2019年 1 月末	10,179	△0.0	-
2 月末	10,179	△0.0	-
3 月末	10,178	△0.0	-
4 月末	10,178	△0.0	-
5 月末	10,177	△0.0	-
6 月末	10,176	△0.0	-
7 月末	10,176	△0.0	-
8 月末	10,175	△0.0	-
9 月末	10,175	△0.0	-
10 月末	10,175	△0.0	-
11 月末	10,174	△0.1	-
(期末)2019年12月 9 日	10,174	△0.1	-

(注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。  
 (注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,180円 期末：10,174円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債やコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆ 投資環境について

○ 国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

(1) 公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	350,004	(350,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。  
 (注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。  
 (注3) 単位未満は切捨て。

(2) その他有価証券

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国内短期社債等	238,999,542	238,999,547 (—)

(注1) 金額は受渡し代金。  
 (注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。  
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

買		売	
銘柄	金額	銘柄	金額
801 国庫短期証券 2019/3/18	350,004		

(注1) 金額は受渡し代金 (経過利子分は含まれておりません)。  
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

国内その他有価証券

	当 期		末	
	評 価	額 比	評 価	率
国内短期社債等	千円 999,997		% <1.2>	

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。  
 (注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年12月9日現在

項 目	当 期		末	
	評 価	額 比	評 価	率
コール・ローン等、その他	千円 83,690,918		% 100.0	
投資信託財産総額	83,690,918		100.0	

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年12月9日現在

項 目	当 期	末
(A) 資産	83,690,918	350,174
コール・ローン等	82,690,920	679
現先取引(その他有価証券)	999,997	671
(B) 負債	51,646	
その他未払費用	51,646	
(C) 純資産総額(A - B)	83,690,866	704
元本	82,259,129	638
次期繰越損益金	1,431,737	066
(D) 受益権総口数	82,259,129	638口
1万口当り基準価額(C / D)	10,174	元

\* 期首における元本額は78,610,288,449円、当作成期間中における追加設定元本額は112,484,550,034円、同解約元本額は108,835,708,845円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ日経225-シフト11- 2019-03 (適格機関投資家専用) 1,850,319,411円、ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド - AI新時代- (為替ヘッジあり) 977,694円、ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド - AI新時代- (為替ヘッジなし) 977,694円、ダイワFEGグローバル・バリュエ (為替ヘッジあり) 9,608円、ダイワFEGグローバル・バリュエ (為替ヘッジなし) 9,608円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり) 49,107円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし) 49,107円、ダイワ/ "R I C I" コモディティ・ファンド5,024,392円、US債券NB戦略ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 1,676円、US債券NB戦略ファンド (為替ヘッジなし/年1回決算型) 1,330円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>

米ドルコース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>円コース981円、NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>世界通貨分散コース981円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/隔月分配型) 180,729円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/隔月分配型) 737,649円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/資産成長型) 95,276円、NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型) 337,885円、世界セレクトティブ株式オープン983円、DCダイワ・マネー・ポートフォリオ4,249,607,706円、ダイワファンドラップ コモディティセレクト317,107,941円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型) 132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型) 643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型) 12,784円、ダイワ/フィデリティ北米株ファンド - パラダイムシフト-9,853,995円、低リスク型アロケーションファンドII (適格機関投資家専用) 4,212,646,194円、プルベア・マネー・ポートフォリオV 32,678,414,397円、プル3倍日本株ポートフォリオV 31,868,647,270円、ベア2倍日本株ポートフォリオV 6,946,381,074円、ダイワFEGグローバル・バリュエ株ファンド (ダイワSMA専用) 3,666円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 155,317円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型) 38,024円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 米ドル・コース (毎月分配型) 4,380円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型) 22,592円、ダイワ/アムンディ食糧増産関連ファンド 164,735円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ 109,485,524円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース) 33,689円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース) 96,254円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド-インフラ革命- (為替ヘッジあり) 5,385円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジなし) 11,530円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 米ドルコース9,817円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 日本円コース6,964円、ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 通貨αコース9,479円、ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型) 98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ980,367円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型) 1,097円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型) 2,690円、ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,350円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース982,029円、ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプルリターンズ-通貨セレクト・コース (毎月分配型) 98,174円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,174円です。

■損益の状況

当期 自2018年12月11日 至2019年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 42,819,286円
受取利息	111,756
支払利息	△ 42,931,042
(B) その他費用	△ 2,381,736
(C) 当期損益金(A + B)	△ 45,201,022
(D) 前期繰越損益金	1,418,229,476
(E) 解約差損益金	△1,927,237,136
(F) 追加信託差損益金	1,985,945,748
(G) 合計(C + D + E + F)	1,431,737,066
次期繰越損益金(G)	1,431,737,066

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のお引き立てにあずかり、厚くお礼申し上げます。  
さて、「フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズ(適格機関投資家専用)」は、  
第7期決算を行いましたので、運用状況をご報告申し上げます。  
今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

運用報告書  
(全体版)

第7期(決算日 2020年2月18日)  
計算期間(2019年2月19日～2020年2月18日)

### ■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2013年3月21日から2023年3月16日まで
運用方針	<ul style="list-style-type: none"><li>●シエール革命の経済波及効果から期待される米国経済の変革に着目し、主に北米(米国およびカナダ)の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株式(DR(預託証券)を含みます。)を投資対象とし、投資信託財産の成長を図ることを目的に運用を行います。北米以外の金融商品取引所に上場されている株式に投資することもあります。</li><li>●相対的に高い業績拡大および株価の上昇が期待される銘柄を発掘します。</li><li>●アナリストによる企業調査結果を活かし、ポートフォリオ・マネージャーによる「ボトムアップ・アプローチ」を重視します。</li><li>●株式の組入比率は、原則として高位を維持します。</li><li>●組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</li><li>●FILインベストメンツ・インターナショナルおよびFILインベストメント・マネジメント(オーストラリア)・リミテッドに、運用の指図に関する権限を委託します。</li><li>●資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。</li></ul>
主要運用対象	主に北米(米国およびカナダ)の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株式を投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時(原則2月18日。同日が休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の収益分配方針に基づき分配を行います。 <ul style="list-style-type: none"><li>●分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。</li><li>●収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。</li><li>●留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</li></ul>

(お問合せ先)

フィデリティ投信株式会社 カスタマー・コミュニケーション部  
東京都港区六本木七丁目7番7号 TRI-SEVEN ROPPONGI

 0120-00-8051 (無料)

受付時間: 営業日の午前9時～午後5時

 <https://www.fidelity.co.jp/>

お客様の口座内容などに関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお尋ねください。

## フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズ (適格機関投資家専用)

フィデリティ投信株式会社



■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			株式組入率	株式先物比率	純資産総額
	(分配)	税分配金	騰落率			
3期(2016年2月18日)	円 11,330	円 0	% △19.2	% 99.5	% —	百万円 16,539
4期(2017年2月20日)	14,648	0	29.3	97.2	—	13,873
5期(2018年2月19日)	13,883	0	△5.2	98.3	—	8,706
6期(2019年2月18日)	14,678	0	5.7	97.5	—	6,805
7期(2020年2月18日)	16,251	0	10.7	97.2	—	5,856

(注1) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークは設定しておりません。

(注2) 株式先物比率=買建比率-売建比率

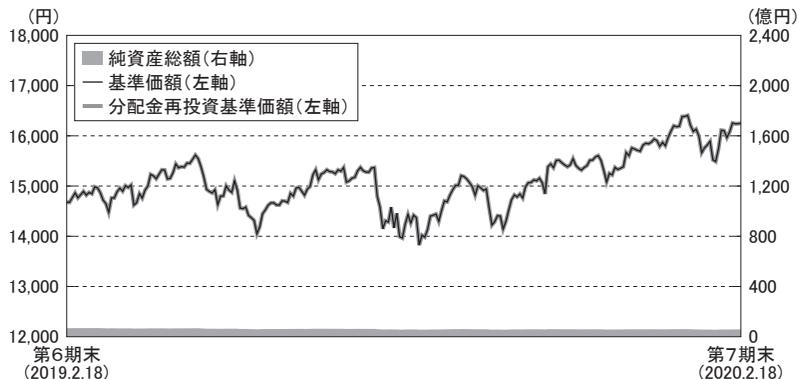
■当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株式組入率	株式先物比率
	騰落率	騰落率		
(期首) 2019年2月18日	円 14,678	% —	% 97.5	% —
2月末	14,874	1.3	97.9	—
3月末	14,918	1.6	97.5	—
4月末	15,386	4.8	97.7	—
5月末	14,315	△2.5	99.3	—
6月末	14,991	2.1	99.9	—
7月末	15,360	4.6	99.6	—
8月末	14,401	△1.9	99.0	—
9月末	14,912	1.6	98.6	—
10月末	15,064	2.6	99.4	—
11月末	15,605	6.3	99.2	—
12月末	15,903	8.3	99.3	—
2020年1月末	15,890	8.3	99.7	—
(期末) 2020年2月18日	16,251	10.7	97.2	—

(注) 騰落率は期首比です。

■ 運用経過の説明

● 基準価額等の推移



第7期首: 14,678円

第7期末: 16,251円(既払分配金0円)

騰落率: 10.7%(分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、2019年2月18日の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

\* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドの騰落率は、+10.7%でした。

当ファンドが主な投資対象とする業種(エネルギー、資本財・サービス、素材、公益事業)のうち当期は主に資本財・サービスおよび公益事業銘柄の値動きがプラスに寄与しました。

個別銘柄で当期の騰落率に寄与した主なものは以下の通りです。

(プラス)

- ・ XPOロジスティクス
- ・ ネクステラ・エナジー
- ・ ジェイコブズ・エンジニアリング・グループ

(マイナス)

- ・ ダイヤモンドバック・エナジー
- ・ バイパー・エナジー・パートナーズ
- ・ ピーボディ・エナジー

## ●投資環境

### ○北米株式相場

米中貿易摩擦による世界経済の減速懸念の高まりから世界の株式市場は不安定な展開となりましたが、当期の米国株式市場は、上昇しました。2019年5月以降、米中貿易摩擦が激化し、両国は互いに追加関税をかけ合う展開となっていました。10月の米中貿易交渉の閣僚級協議を受けて米国が対中追加関税の引き上げを見送ったことや、その後の交渉を経て米中両国が2020年1月に第一段階の合意に署名したことで、貿易摩擦を巡る世界経済の減速懸念に一定の歯止めがかかりました。米連邦準備制度理事会（FRB）が2019年に3度の利下げを行うなど緩和的な金融政策も米国株式市場を支えました。また、当期の市場動向は、世界の主要中央銀行が協調的な金融緩和政策や積極的な財政政策を講じたことが特徴として挙げられます。米国経済は引き続き堅調な個人消費に支えられました。一方、米国政治に目を向けると、トランプ大統領の弾劾裁判が行われましたが、株式市場への影響は軽微でした。2020年に入ると、新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念が投資家心理に影響を及ぼしました。中国では、感染拡大の封じ込めに向けた対策がハイテク製品の生産や需要に影響を与え、ハイテク関連企業の株価下落が市場の重石となりました。業種別では、エネルギーおよび素材を除く全業種が上昇しました。

### ○為替相場

当期の米ドル円為替相場は軟調に推移しました。期初から2カ月は、米中貿易摩擦や世界経済の減速懸念への警戒感が後退したことなどから、円安基調で推移しました。4月から8月にかけては、米中貿易摩擦を巡り、米中の対立が一段と高まったことから、投資家のリスク選好度が低下し、安全資産とされる円などが買われ、円高基調となりました。9月以降は米中貿易協議が進展するとの期待から円安方向に転じました。その後、2019年終盤に米中両国による第一段階の合意に達したとの発表から円安基調で推移しましたが、2020年に入ると、新型コロナウイルスの感染拡大やそれに伴う世界経済への懸念を背景に、円高に振れました。

## ●ポートフォリオ

当期末時点での組入業種は、比率の高い順に、エネルギー、公益事業、資本財でした。また、当期における業種別組入比率の主な変更点は、資本財のエクスポージャーを引き上げた一方で、商業・専門サービスを引き下げました。また、個別銘柄では、レイセオン、ローパーテクノロジーズ、ファスナルを新たに組み入れました。他方、PPL、デュポン・ド・ヌムールなどを売却しました。

## ●ベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

## ■ 分配金

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては投資信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

## ● 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第7期
	2019年2月19日～2020年2月18日
当期分配金	0
（対基準価額比率）	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	6,251

\* 「当期の収益」および「当期の収益以外」は円未満切捨てのため、合計額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

\* 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

\* 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」が当該決算期末日時点の基準価額を上回ることがありますが、実際には基準価額を超えて分配金が支払われることはありません。

## ■ 今後の運用方針

引き続きエネルギー価格の動向や北米を含む世界経済の状況に留意しつつ、確信度の高い独自のファンダメンタルズ調査を包括的に活用することで、長期的に良好なパフォーマンスが期待できるとの考えを堅持しています。独自の調査を行う前提には、企業ファンダメンタルズを把握することでマクロ経済全体の動向の予測よりも高い精度で個別企業の見通しを予想できるとの確信があります。当ファンドは基本的に、ボトムアップによる個別企業調査に基づき、確信度の高い銘柄からポートフォリオを構築しており、投資ユニバースの中で最も有望な投資アイデアを活用していく方針です。

■ 1万口（元本10,000円）当たりの費用明細

項目	第7期		項目の概要
	2019年2月19日～2020年2月18日		
	金額	比率	
(a)信託報酬	102円	0.673%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は15,105円です。
（投信会社）	(99)	(0.653)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(0)	(0.002)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの 管理及び事務手続き等の対価
（受託会社）	(3)	(0.018)	運用財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b)売買委託手数料 （株式）	2 (2)	0.015 (0.015)	(b)売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c)有価証券取引税 （株式）	0 (0)	0.000 (0.000)	(c)有価証券取引税＝ $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d)その他費用	5	0.035	(d)その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
（保管費用）	(4)	(0.026)	保管費用は、有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等のために、海外 における保管銀行等に支払う費用。また、信託事務の諸費用等が含まれます。
（監査費用）	(1)	(0.004)	監査費用は、ファンドの監査人等に対する報酬及び費用
（その他）	(1)	(0.005)	その他には、法定書類等（有価証券届出書、目論見書、運用報告書等）の作成、 印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含ま れます。
合計	109	0.723	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「金額」欄は、各項目毎に円未満を四捨五入しています。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買及び取引の状況（2019年2月19日から2020年2月18日まで）

株 式

	買 付		売 付	
	株 数	金 額	株 数	金 額
外国	百株		百株	
アメリカ	3,244.76 (10.78)	千アメリカ・ドル 25,871 (-)	5,741.72	千アメリカ・ドル 38,056
カナダ	545.27	千カナダ・ドル 2,242	1,162.54	千カナダ・ドル 4,071

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ( )内は増資割当、株式転換・合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	7,501,097千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	6,084,871千円
(c) 売 買 高 比 率(a)/(b)	1.23

(注1) 売買高比率は小数点以下2位未満切捨て。

(注2) 期中の株式売買金額には、増資、配当株式等は含まれておりません。なお、単位未満は切捨て。

(注3) 期中の平均組入株式時価総額は、月末に残高がない月数を除いた単純平均とし、単位未満は切捨て。

(注4) 外貨建株式の邦貨換算は、期中の株式売買金額、期中の平均組入株式時価総額とも各月末(決算日の属する月については決算日)の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

■当期中の主要な売買銘柄

●株 式

買 付				売 付			
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
JOHNSON CONTROLS INTERNATL PLC	67.529	302,924	4,485	NORTHROP GRUMMAN CORP	6.538	250,497	38,314
AIR PRODUCTS & CHEMICALS INC	8.096	187,562	23,167	AIR PRODUCTS & CHEMICALS INC	10.785	234,751	21,766
GENERAL DYNAMICS CORPORATION	8.162	161,022	19,728	SCOTTS MIRACLE GRO CO CL A	16.708	194,081	11,616
UNION PACIFIC CORP	7.958	151,647	19,055	UNITED TECHNOLOGIES CORP	12.739	187,598	14,726
INGERSOLL RAND PLC	11.354	151,162	13,313	NEXTERA ENERGY INC	6.671	172,897	25,917
3M CO	8.173	150,253	18,384	JOHNSON CONTROLS INTERNATL PLC	36.155	161,950	4,479
L3 HARRIS TECHNOLOGIES INC	6.723	149,813	22,283	HUNTINGTON INC W/I	6.217	156,867	25,231
RAYTHEON CO	6.216	148,868	23,949	HONEYWELL INTL INC	8.084	147,910	18,296
CCL INDUSTRIES INC - CL B	23.678	123,440	5,213	CATERPILLAR INC	10.402	141,791	13,631
FASTENAL CO	33.859	120,792	3,567	3M CO	8.173	141,690	17,336

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2019年2月19日から2020年2月18日まで）

期中における当ファンドに係る利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細 (2020年2月18日現在)

外国株式

上場、登録株式

銘柄	期首 (前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ・・・NASDAQ)	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
FASTENAL CO	—	331.47	1,270	139,543	資本財
PACCAR INC	—	69.26	517	56,868	資本財
IHS MARKIT LTD	183.01	—	—	—	商業・専門サービス
DIAMONDBACK ENERGY INC	111.57	101.99	764	84,001	エネルギー
VIPER ENERGY PARTNERS LP	268.41	108.16	254	28,006	エネルギー
WOODWARD INC	—	73.52	866	95,242	資本財
(アメリカ・・・ニューヨーク証券取引所)					
AGCO CORP	123.4	—	—	—	資本財
AIR PRODUCTS & CHEMICALS INC	91.9	65.01	1,664	182,842	素材
BALL CORP	165.45	—	—	—	素材
CMS ENERGY CORP	188.57	71.9	492	54,115	公益事業
CABOT OIL & GAS CORP	177.53	—	—	—	エネルギー
CATERPILLAR INC	104.02	—	—	—	資本財
EOG RESOURCES INC	93.33	85.32	639	70,224	エネルギー
GENERAL DYNAMICS CORPORATION	—	81.62	1,534	168,629	資本財
GENERAL ELECTRIC CO	2,010.9	1,125.03	1,443	158,573	資本財
WW GRAINGER INC	—	37.39	1,150	126,372	資本財
L3 HARRIS TECHNOLOGIES INC	—	54.17	1,238	136,012	資本財
JACOBS ENGINEERING GROUP INC	202.43	124.65	1,254	137,844	資本財
MSC INDUSTRIAL DIRECT CO CL A	128.81	—	—	—	資本財
NISOURCE INC	212.2	—	—	—	公益事業
NORFOLK SOUTHERN CORP	106.07	83.59	1,749	192,250	運輸
NORTHROP GRUMMAN CORP	65.38	—	—	—	資本財
OSHKOSH CORP	—	58.31	490	53,893	資本財
SCOTTS MIRACLE GRO CO CL A	167.08	—	—	—	素材
UNION PACIFIC CORP	—	77.91	1,433	157,489	運輸
UNITED TECHNOLOGIES CORP	127.39	68.67	1,053	115,771	資本財
EDISON INTERNATIONAL	245.69	141.74	1,093	120,118	公益事業
VALERO ENERGY CORP	—	117.85	973	106,994	エネルギー
FEDEX CORP	28.71	54.25	860	94,536	運輸
PIONEER NATURAL RESOURCES CO	23.58	94.15	1,310	144,010	エネルギー
HONEYWELL INTL INC	64.15	—	—	—	資本財
DEVON ENERGY CORPORATION	287.21	—	—	—	エネルギー
KANSAS CITY SOUTHERN	—	42.19	732	80,482	運輸
EXELON CORP	381.84	265.62	1,321	145,204	公益事業
RAYTHEON CO	—	60.85	1,382	151,869	資本財
AMETEK INC NEW	139.77	60.9	617	67,801	資本財
CHEVRON CORP	332.34	285.46	3,142	345,217	エネルギー

フィデリティ・ダイワ・エクイティ・シリーズ（適格機関投資家専用）

銘柄	期首（前期末）		当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円		
INGERSOLL RAND PLC	—	108.8	1,594	175,167	資本財	
CONOCOPHILLIPS	329.98	274.35	1,608	176,681	エネルギー	
SPIRIT AEROSYSTEM HLD INC CL A	—	109.48	743	81,678	資本財	
JOHNSON CONTROLS INTERNATL PLC	—	313.74	1,316	144,625	資本財	
NEXTERA ENERGY INC	134.08	67.37	1,876	206,140	公益事業	
MARATHON PETROLEUM CORP	279.04	255.08	1,487	163,458	エネルギー	
HUNTINGTON INC W/I	62.17	—	—	—	資本財	
XPO LOGISTICS INC	162.63	61.69	587	64,519	運輸	
ALLISON TRANSMISSION HLDGS INC	138.35	247.14	1,093	120,115	資本財	
FORTIVE CORP	118.81	—	—	—	資本財	
ASHLAND GLOBAL HOLDINGS INC	114.59	—	—	—	素材	
VALVOLINE INC	271.82	350.52	767	84,332	素材	
WARRIOR MET COAL INC	—	197.54	405	44,575	素材	
BAKER HUGHES CO	438.38	400.74	880	96,767	エネルギー	
DUPONT DE NEMOURS INC	352.21	—	—	—	素材	
AMERICAN WATER WORKS CO INC	136.11	87.3	1,216	133,618	公益事業	
ARMSTRONG WORLD INDUSTRIES INC	131.81	—	—	—	資本財	
CONCHO RESOURCES INC	81.37	74.38	579	63,679	エネルギー	
FLOWSERVE CORP	122.33	—	—	—	資本財	
ROPER TECHNOLOGIES INC	49.13	40.23	1,579	173,573	資本財	
KNIGHT-SWIFT TRANSPORTATION HO	—	138.03	539	59,230	運輸	
小 計	株 数 、 金 額	8,953.55	6,467.37	45,531	5,002,080	
	銘柄 数 <比 率>	42銘柄	41銘柄	—	<85.4%>	
(カナダ・・・・トロント)	百株	百株	千カナダ・ドル	千円		
BARRICK GOLD CORP	557.72	424.71	1,109	92,053	素材	
CCL INDUSTRIES INC - CL B	—	226.9	1,331	110,502	素材	
CANADIAN NATL RAILWAY CO ORD	111.18	73.17	910	75,592	運輸	
FORTIS INC	105.35	98.39	574	47,647	公益事業	
SUNCOR ENERGY INC	584.44	450.45	1,777	147,457	エネルギー	
NORBORD INC	212.37	194.14	861	71,511	素材	
VALENER INC	410.19	—	—	—	公益事業	
HYDRO ONE LIMITED	—	302	884	73,425	公益事業	
IVANHOE MINES LTD	1,451.62	1,355.48	487	40,491	素材	
AIR CANADA VTG	391	81.36	376	31,204	運輸	
小 計	株 数 、 金 額	3,823.87	3,206.6	8,313	689,885	
	銘柄 数 <比 率>	8銘柄	9銘柄	—	<11.8%>	
合 計	株 数 、 金 額	12,777.42	9,673.97	—	5,691,966	
	銘柄 数 <比 率>	50銘柄	50銘柄	—	<97.2%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) < >は純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2020年2月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	5,691,966千円	96.9%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	184,502	3.1
投 資 信 託 財 産 総 額	5,876,469	100.0

(注1) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

なお、2月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=109.86円、1カナダ・ドル=82.98円です。

(注2) 当期末における外貨建資産(5,848,461千円)の投資信託財産総額(5,876,469千円)に対する比率は、99.5%です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年2月18日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	5,924,608,336円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	174,062,667
株 式(評価額)	5,691,966,552
未 収 入 金	48,146,842
未 収 配 当 金	10,432,275
(B) 負 債	68,312,565
未 払 金	48,224,454
未 払 信 託 報 酬	19,956,902
そ の 他 未 払 費 用	131,209
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	5,856,295,771
元 本	3,603,582,436
次 期 繰 越 損 益 金	2,252,713,335
(D) 受 益 権 総 口 数	3,603,582,436口
1 万 口 当 り 基 準 価 額(C/D)	16,251円

(注1) 当期における期首元本額4,636,389,669円、期中追加設定元本額17,241,380円、期中一部解約元本額1,050,048,613円です。

(注2) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

■損益の状況

当期 自2019年2月19日 至2020年2月18日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	107,572,256円
受 取 配 当 金	106,375,082
受 取 利 息	1,197,174
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	500,064,178
売 買 益	1,072,246,299
売 買 損	△572,182,121
(C) 信 託 報 酬 等	△43,450,836
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	564,185,598
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	1,541,884,378
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	146,643,359
(配 当 等 相 当 額)	(120,059,710)
(売 買 損 益 相 当 額)	(26,583,649)
(G) 合 計(D+E+F)	2,252,713,335
次 期 繰 越 損 益 金(G)	2,252,713,335
追 加 信 託 差 損 益 金	146,643,359
(配 当 等 相 当 額)	(120,059,710)
(売 買 損 益 相 当 額)	(26,583,649)
分 配 準 備 積 立 金	2,106,069,976

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、純資産総額に対して年0.32%以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

(注5) 分配金の計算過程は以下の通りです。

	当 期
(a) 費用控除後の配当等収益	99,881,458円
(b) 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益	293,038,818円
(c) 収益調整金	146,643,359円
(d) 分配準備積立金	1,713,149,700円
(e) 分配可能額(a+b+c+d)	2,252,713,335円
1 万 口 当 たり 分 配 可 能 額	6,251.32円
(f) 分配金額	0円
1 万 口 当 たり 分 配 金 額 (税 引 前)	0円

＜お知らせ＞

- 2019年5月23日付で委託会社が受益者に対してする電子公告のURLを<https://www.fidelity.co.jp/>に変更するため、投資信託約款に変更を行いました。
- 2019年8月9日付で当ファンドの投資信託約款について、運用の指図に関する権限の委託先にFILインベストメント・マネジメント(オーストラリア)・リミテッドを追加いたしました。